

平成26年度 児童の学力向上を図るための調査について

4月22日に6年生を対象として、7月3日には5年生を対象として、学力調査を実施しました。この調査は児童一人一人の学力の状況を把握し、指導方法を改善して児童の学力向上を図るためのものです。結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

26年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査(5年生)」の結果 数値の単位：%

教科	A 教科の内容											
	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 話す・聞く		技能書く		知識・理解 言語		読む		Aの合計正答率	
	立野小	東京都	立野小	東京都	立野小	東京都	立野小	東京都	立野小	東京都	立野小	東京都
国語	93.8	95.0	80.5	77.3	72.7	66.2	83.0	79.2	74.5	71.3	81.2	77.8
社会	86.7	87.6	68.4	68.9	80.9	75.5	85.4	76.6			80.4	75.6
算数	93.0	89.4	71.7	65.4	80.6	71.5	63.2	58.6			70.8	65.0
理科	89.8	91.0	58.3	58.3	74.7	70.4	71.7	67.4			70.5	67.9

教科	B 読み解く力に関する内容							
	取り出す力		読み取る力		解決する力		Bの合計正答率	
	立野小	東京都	立野小	東京都	立野小	東京都	立野小	東京都
国語	79.7	86.3	43.8	28.3	42.2	40.7	55.2	52.6
社会	63.3	64.4	53.9	53.0	53.9	51.0	57.0	53.7
算数	86.7	83.9	48.4	38.1	37.5	34.3	56.2	50.3
理科	71.9	72.1	55.5	44.4	52.3	48.9	59.9	57.4

AとBの合計正答率		
	立野小	東京都
国語	77.6	74.4
社会	75.0	70.5
算数	67.8	62.0
理科	68.1	65.6

B読み解く力に関する内容については、「読み取る力」や「解決する力」に比べ、「取り出す力」にやや課題が残りました。解決に必要な情報を正確に取り出すために、問題の中心的な情報(解決のために必須の情報)と付加的な情報とを区別する力などを身に付けさせる指導を充実させていきます。

国語では、昨年度までの校内研究の成果として、どの観点においても平均以上の力が身に付いてきました。今後は、話し手の意図を捉えたり、話し手が伝えたい大事なことを聞き分けたりする力を継続的に育てていきます。

算数では、学習内容の4観点とも都の正答率に比べ高いポイントを示しており、安定した力を身に付けている児童が多いと言えます。今後、問題から「必要な情報を取り出す力」をもう少し伸ばすことによって、バランスのとれた学力を目指します。知識・理解や計算技能といった基礎基本の習熟と合わせて、問われている意味を正確に読み取り解決し、その根拠や方法を人に説明できる力が身に付くよう指導を繰り返し行っていきます。

26年度「全国学力・学習状況調査(6年生)」の結果 数値の単位：%

国語A・算数A……これまでの学習内容を理解し、しっかり身に付けているかどうかを見るもの。
国語B・算数B……これまで学習した内容を、他教科や実生活の中で活用できるかどうかを見るもの。

	関心・意欲・態度			話す・聞く 数学的な考え方			書く 数量・図形の技能		
	立野小	東京都	全国	立野小	東京都	全国	立野小	東京都	全国
国語A				88.2	74.1	72.4	84.8	75.0	72.2
国語B	48.5	35.3	34.4	62.3	53.7	51.0	48.5	35.7	34.4
算数A							91.0	88.2	87.9
算数B				64.7	50.9	47.8	85.3	77.9	76.2

	読む			言語 数量・図形の知識・理解			全体		
	立野小	東京都	全国	立野小	東京都	全国	立野小	東京都	全国
国語A	75.7	72.9	68.5	83.0	76.1	73.7	82.4	75.5	72.9
国語B	69.7	58.8	57.3	83.1	71.6	69.8	67.5	57.2	55.5
算数A				79.2	71.6	69.5	84.8	79.4	78.1
算数B				72.5	59.6	54.8	72.9	61.2	58.2

国語では、5年生の結果と同様に、どの観点においても都や全国の平均以上の力が身に付いているという結果が出ました。今後も、話し手の意図を捉えたり、話し手が伝えたい大事なことを聞き分けたりする力を身に付けられるよう、質の高い「交流」の場を継続的に学習の中に取り入れていくとともに、学校生活全体を通して、意図的に指導していきます。また、筆者の意図や考えをしっかりと読み取る力が身に付いていきます。

算数では、基本的な技能や知識・理解がよく身に付いてきており、少人数算数指導の大きな成果と言えます。今後も、全体の底上げを図るよう、いっそう基礎基本の指導を大切にしていきます。また、文章問題では、問われている意味を正確に読み取る力の伸びがもう少し欲しいところです。問題から必要な情報を取り出し、解決の方法を考え、その根拠や方法を人に説明できる力が一層身に付くよう指導を繰り返し行っていきます。

心を育てる

～立野の生活指導～

20分休みは、外で元気よく遊ぼう

寒さが厳しくなってきましたが、立野小学校では、『晴れた日の20分休みは全員校庭で遊ぶ』ことを大切にしています。「遊び」の中で様々な運動経験をすることで、体力も自然につき、仲間との遊びから心も成長してきます。1月13日からは、全校での【ピョンピョンタイム】が始まりますので、校庭でなわとびに取り組む姿が多くなります。「ちゃん、あやとびが上手!」「さん、二重跳びが跳べるようになってすごいね」「早く回すと上手いくよ」と、教え合ったり友達のがんばりを伝え合ったりすることができる立野小の子どもたちです。引き続き、友達と励まし合って一緒に体を動かす心地良さを感ぜられるよう指導してまいります。



平成26年度 新体力テストについて

体力の現状を把握するとともに、一人一人が課題をもって体力向上に取り組むことができることをねらいとし、5月に全校児童を対象とした体力テストを実施しました。東京都の結果と比較し、立野小の児童の体力の実態を分析しましたので、お知らせします。

男子	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび	
	立野小	都平均	立野小	都平均	立野小	都平均	立野小	都平均
1年生	9.4	9.0	11.7	10.8	23.3	25.7	28.6	26.4
2年生	12.3	10.7	13.3	13.7	27.1	27.3	31.9	30.2
3年生	13.6	12.6	15.8	15.9	30.0	29.3	35.8	34.1
4年生	14.7	14.5	21.1	18.0	36.0	31.2	45.4	38.1
5年生	16.3	16.6	21.3	19.9	28.6	33.5	43.9	41.9
6年生	20.8	19.5	23.1	21.9	43.3	35.8	47.6	45.1
男子	20mシャトルラン		50m走		立ち幅とび		ソフトボール投げ	
	立野小	都平均	立野小	都平均	立野小	都平均	立野小	都平均
1年生	16.9	16.2	11.8	11.5	110.1	111.3	7.3	7.8
2年生	21.7	26.4	10.7	10.6	127.2	122.9	11.8	11.4
3年生	36.5	35.1	9.9	10.1	137.0	133.5	16.4	15.2
4年生	47.5	43.4	9.9	9.6	149.9	142.8	21.0	18.8
5年生	49.7	51.0	9.5	9.3	153.9	151.7	17.8	22.3
6年生	56.4	58.4	8.6	8.9	169.7	162.4	28.6	26.1

女子	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび	
	立野小	都平均	立野小	都平均	立野小	都平均	立野小	都平均
1年生	9.4	8.4	12.1	10.4	26.4	28.3	27.8	25.3
2年生	11.7	10.1	15.4	13.2	33.5	30.5	31.0	28.9
3年生	12.2	11.8	16.1	15.2	33.2	32.9	31.7	32.4
4年生	13.5	13.7	17.6	17.2	39.0	35.1	41.2	36.3
5年生	16.6	16.1	19.6	18.6	35.1	38.1	42.0	39.6
6年生	19.0	19.9	21.0	19.5	46.8	40.9	44.3	42.1
女子	20mシャトルラン		50m走		立ち幅とび		ソフトボール投げ	
	立野小	都平均	立野小	都平均	立野小	都平均	立野小	都平均
1年生	12.4	13.5	12.1	11.8	107.2	104.0	4.5	5.3
2年生	19.0	20.0	10.7	10.9	123.1	115.2	7.0	7.1
3年生	27.8	25.6	10.3	10.4	131.1	125.6	8.8	9.1
4年生	36.8	32.6	10.0	9.9	142.4	135.2	11.5	11.1
5年生	36.4	38.8	9.8	9.5	152.8	144.5	13.3	13.1
6年生	42.1	44.0	9.0	9.2	160.4	152.7	13.2	14.9

考察

今年度、学校全体で体力向上に向けて取り組んだ成果が見られる結果となりました。昨年度と比較すると、多くの種目で東京都の平均を上回る結果となり、特に、反復横跳びや立ち幅跳びでは、ほとんどの学年で東京都の平均を上回りました。その他、握力、上体起こしも良好でした。一方、20mシャトルラン、50m走は、東京都の平均を下回る学年が多く見られました。また、ソフトボール投げは、女子に比べて男子が良い結果となっています。休み時間や体育の時間において、男子がボール遊びや鬼ごっこ等の外遊びに積極的に取り組む姿が見られることが、このような結果につながったと考えられます。

学校としての取り組み

体育では、準備運動後のウォーミングアップに校庭を走ったり、なわとびやおにごっこなどの持久力が必要な運動を取り入れていき授業改善に一層取り組みます。また、持久走大会やなわとび月間などの体育的行事を充実させ、RUNランタイムやピョンピョンタイムなど、全校で体を動かす取り組みも継続して行っていきます。そして、休み時間の外遊びもこれまで以上に推奨し、教員も子供と一緒に遊ぶ機会を大切にします。

ご家庭へのお願い

引き続き、放課後の外遊びを呼びかけてください。学校での遊びも含め、「1日60分間は体を動かしたり、運動をしましょう」というのが東京都の目安となっています。また、体力・運動能力を高めるためには、心や体も健康に保つことが大切です。「ご飯は3食しっかり食べること、夜更かしはせず睡眠をしっかりとること」など、基本的な生活習慣を見直し、元気に運動に取り組めるようご家庭でもご協力をお願いします。